

木材をあしらってベンチを設置するとともに、光沢感のある壁を採用し、温かみのある空間に(やまぞえ小学校)。



最新
現場事例
1

奈良県山添村

やまぞえ小学校 山添中学校

子どもたちの心が安らぎ、
大切にできるトイレを目指して

将来を見据えて
多機能トイレを設置

山添村は奈良県にある人口約4千人の村です。村内には小学校と中学校が1校ずつあります。やまぞえ小学校と山添中学校です。耐震化は平成21年に完了しましたが、校舎の老朽化が進んでおり、トイレも毎年のように便器のつまりや破損、においの問題が発生し、小規模な修繕を繰り返していました。

特に、小学校では耐震化工事の際、一部トイレの窓をふさぐ必要からにおいがこもりやすい上、光が入りにくくなっていました。教育委員会として全面改修の必要性を痛切に感じていた頃、PTAから「多機能トイレの設置」を要望する声も。

の家族の方など、必要とする人が現れたときにすぐに対応できるようにしたいと設置を決めました(山添村教育委員会事務局 椋本泰明主査)

こうして平成27年度から順次、小中学校のトイレ改修をすることが決まりました。

目指したのは、「子どもたちが憩い、安らぐことができ、大切にすると意識を持てるトイレ」です。

教育委員会では、理想のトイレ実現のため、子どもたちに「家庭でのトイレの使用状況」を聞いたり、独自に研究誌を見たりして検討を重ねました。

「施工前から施工中に至るまで具体的な要望をどんどん設計事務所に伝え、提案を受けながら形にしていきました」(椋本さん)



ベンチでよくくつろいでいます!

やまぞえ小学校
中西くん



①男子トイレの個室ブースにつけたアークスライド方式の扉。「ぶら下がる子がいるのではと心配しましたが、問題なく使っています」(やまぞえ小学校中西正司校長 取材時) ②モザイクタイルや木材、塗材などさまざまな素材を使って表情豊かな空間に。③超節水タイプで掃除のしやすい壁掛小便器を採用(以上やまぞえ小学校)。

男女の掃除用具入れを一つにして省スペース化

要望の一つは、ブースや便器数を減らさずに、便器を洋式化し、子どもたちが入りやすいようにエントランスを広く取ることでした。既存トイレの限られたスペースでは、パイプスペースを動かせないため、設計事務所ではさまざまな工夫を凝らしました。

「小学校では、男女トイレ内にそれぞれあった掃除用具入れを外側に出して二つに。ブース内の空間はしっかり確保しながらも、開け閉め時に通路の人を気にしなくていいようにアークスライド方式の扉のブースを採用しました」(E I 建築設計事務所 徳本栄三さん)。

器具の選定に関しては、「予算が許す限り、一番新しい便器や便座を選びました」と語るのは、同教育委員会の上協力事務局長補佐です。

「学校は社会に出ていく子どもたちを教育する場。家庭や社会で当たり前に使われている洋式便器や温水洗浄便座にするのは、学校としても当然のこと。便器や便座は一度設置したら長年使うものです。『現状での最新

ベンチは子どもたちの好きな居場所の一つに。



式』でなければ、すぐ時代遅れになってしまいます」

今回の改修では、掃除のしやすさも考慮され、床は乾式に。

山添村の小中学校では、もともと掃除をしっかりとやる校風が根付いています。掃除の時間には、みんなが手に雑巾を持ち、隅々まで磨き上げます。

「山添は三世代同居が多い地域。家庭や地域での教育もあり、自分のやるべきことが終わったから、すぐに他の人の仕事を手伝う気遣いのできる子どもたちばかりです」(山添中学校 山本喜弘校長 取材時)

【改修前】 **【改修後】**

パイプスペースを考慮して、小便器を奥に配置。ブースのスペースと通路をしっかり確保。

DATA
 やまぞえ小学校
 竣工年月／2016年8月30日
 所在地／奈良県山辺郡山添村
 春日1770-1
 児童数／125名(2017年4月現在)
 施主／山添村
 設計・工事監理／Ei建築設計事務所
 施工／寺島組



①上からのライトが鏡面の壁に反射し上質な空間に。②掃除用具入れは男女一つにまとめてすっきり。③全ブース最新式の便器と温水洗浄便座を採用。④3階女子トイレ。アークスライド扉で通路の安全性も確保(以上やまぞえ小学校)。



①中が丸見えになってしまうため、思春期の生徒のことを考え、人影がわかる窓付きのドアをつけて。②ランチルームの掃除風景。掃除時間は生徒の好きな音楽をかけている。③「ずっときれいなままにしたい」と掃除に励む生徒たち(以上山添中学校)。



誰でも使えるよう1階の玄関のすぐ近くに設置した、中学校の「みんなのトイレ」。

「新トイレができ、腹痛を我慢する生徒が減った」

子どもたちの掃除への意欲が高まった

トイレが新しくなり乾式化したことで、掃除への意欲はさらに高まりました。「トイレの中の段差がなくなっ

て掃くのが楽になった」「水をま

かなくてよくなったので、時

間内に掃除を

終えられてうれ

しい」と山添中学校の生徒たちは喜んで

います。

トイレを改修したことで、もう二つ生徒たちに変化が。

「授業中に手を上げて『お腹が痛いからトイレに行きたい』とい



掃除後、美化委員のチェックもあり、掃除は入念。

う子が増えました。今までの古いトイレでは行きたくても我慢していたのでしょ(同中学校

浅野典昭教諭)。やまぞえ小学校の中西正司校長(取材時)は、

「山添村は人口が

少なく財政も厳しい。その中、

『子どもた

ちの教育のため』と工夫

して立派なト

イレを作った。作っている途

中では、設計、施工の会

社、地元の大工さん、教育委員会など、トイレ作りに関わってくれ

た方々の熱意も感じました。子どもたちみんなで大切にトイレ

を使っていきたいです」と感謝の気持ちを感じました。

村の人たち子どもたちへの思いが詰まった山添村の新しい

学校トイレ。きつといつまでもピカピカに使われ続けることで

しよう。

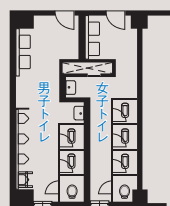


DATA

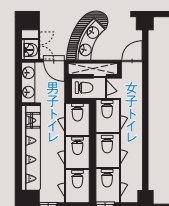
山添中学校
竣工年月/2015年8月30日
所在地/奈良県山辺郡山添村大西1044
生徒数/65名
(2017年4月現在)
施主/山添村
設計・工事監理/
E建築設計事務所
施工/寺島組



【改修前】



【改修後】



入り口には個性的なRの形の手洗い場を設置。「使いたくなる手洗い場」を目指す。